



令和3年度 小平市立小平第十四小学校 学校経営協議会

コミュニティ・スクール(CS)だよりNo.4

地域と共に築きます。十四小をふるさとと呼べる学校に。 Since2015

令和4年3月18日
小平市立小平第十四小学校
学校経営協議会
会長
校長

令和3年度第4号

〒187-0042 小平市仲町33 TEL:042-343-0201 E-mail gakkou@14.kodaira.ed.jp

コロナ禍の先の見えない状況下で、家庭、教育、地域が感染防止対策を手探りに進めてまいりました。これまでにない苦悩と困難の繰り返しで、保護者をはじめとすると学校関係者の皆様には大変なご苦労があったとお察しします。しかしながら、この様な最中でも弛まず進めていくのが地域防災です。昨年12月に行われた避難所開設訓練同様に、これまでよりも実践的な防災訓練が求められていると感じる今日この頃です。東日本大地震から11年、コミュニティ・スクールの防災プロジェクトも大きな災害に備え、いよいよ避難所運営協議会設立へと駒を進める時期が来たと実感しております。その為には感染症対策を徹底し、今一度、十四小校区内のコミュニティを充実させ、顔の見える関係づくりが求められます。その為にもコロナの収束を願うと共に、皆様のご協力を改めてお願い申し上げます。

(学校経営協議会副会長)



学校経営協議会 4つのプロジェクトより活動報告



地域見守りプロジェクト	地域は緑、PTAは青の腕章で、登校時を中心に見守り活動をしています。今年度は、PTAが黄色い旗を持つことで車にその存在を知らせ、子どもと自身の安全を高めるようにしました。今後も、地域と保護者の双方の目線で続けていきます。
地域防災プロジェクト	現在、十四小避難所管理運営マニュアルの見直しを行っています。各ご家庭に配布する予定です。災害時には避難所のスタッフの大半は避難者が行うこととなります。いざと言う時のために避難所について知っておいてください。
地域参画(貢献)型授業プロジェクト	今年度も地域の方々のご協力により多くの学びの場をいただくことができました。年度末に地域参画(貢献)型授業の記録やご協力をいただいた方の名簿を整理・更新していく予定です。<参照…TOPICS2 三学期 5年生 地域参画型授業>
地域支援プロジェクト	十四小には地域とかがわる様々な授業があります。一年間を通して経験するそういった授業の一覧を作成中です。紙面にして新学期に皆様にお伝えする予定です。

地域支援プロジェクトからひと言！【毎号各プロジェクトからのコメントを掲載していきます】

CSだよりの紙面が変わりました！実は今年度から地域支援プロジェクトのメンバーが、CSだよりの編集を担当しています。学校と地域が連携する様々な活動を、毎回トピックスとして取り上げ、発信していきます。こんなことを特集してほしい！というご意見ご要望がありましたら、学校もしくはCS委員までお寄せください。CS委員の声を代弁する『つぶやき隊(チャボのコッコとウサギのメロン、かめのひよったん)』も活躍中です♪

TOPICS 1

なかまちテラスと連携した豊かな地域協働体制！



今年のテラスギャラリーでは放課後のいけばな展示もあったよ



【なかまちテラスLINKS】とは？

十四小では、学区域内のなかまちテラス(公民館と図書館の複合施設)と連携した様々な活動を行っています。L(Library)=図書館、i(i)=私、N(Nakamachi)=仲町、K(Kominkan)=公民館、S(School)=学校を意味する【LINKS】は、地域づくりの拠点となる施設にしたいという想いで名付けられたもので、本校の地域教育コーディネーターも、LINKSのメンバーとして、主に子どもたちが参加するイベントの企画や運営に積極的に関わっています。なかまちテラスまつりでは毎年児童の作品展示を見ることができます。公民館主催のジュニア講座には本校の児童が多数参加し、いろんな体験をさせていただいています。豊かな地域共同体制は十四小の財産です！

TOPICS 2

5年生が地域について学びました。「CSってなんですか?」と関心をもってくれました。



5年生はいま、「地域に目を向けよう」というテーマで総合的な学習に取り組んでいます。地域といえば「避難所」ということで、調べ学習をすすめるうちに、避難所の運営が「誰かにやってもらう」という視点から、「自分たちにもできることはないか」という視点に変わってきました。また、地域にくらす様々な人みんなのためにどのような備えがあるのかということへも関心が広がってきました。子どもたちの希望により、実際に地域で避難所運営にかかわる方々に授業に来ていただき、いろんなことを学ぶことができました。



「私は今まで避難所には具体的にどのようなものがあるか知らなかったけど、一人一人を考えた工夫がたくさんあっていいなと思いました。」「様々な人が避難できるように、設備がそろえられていて、地域の人達とボランティアが協力することが分かりました。私も誰かの役に立ちたいと思いました。」
【子どもたちの声】

さらに、子どもたちの関心は、「十四小がコミュニティ・スクールである」ということにも向けられ、上述の授業に参加したCS委員に対して、「CS（コミュニティ・スクール）ってなんですか?」という鋭い質問が!

「今回、避難所についてもっと知りたいという思いが生まれたときに、子ども達から「福島さん、安齋さんならきっと避難所に詳しいにちがいない。聞いてみたい。」という声が上がりました。子ども達から、お二人の名前が出たことは、うれしい驚きでした。これまでの経験から地域の方としっかりとつながっていると思いました。また、地域の方々が子ども達の思いに答えてくださり、CSならではの地域のつながりの強さを感じました。」

【先生方の声】（※今年度十四小に赴任された先生に十四小のCSについての印象を伺いました）



十四小では、子どもたちのことを共に考え、共に育てるために、地域も積極的に学校と関わっています。今は地域の子どもですが、何年か後には、地域の大人になります。この学習をきっかけに子どもたちが地域に目を向け、自分なりの考えをもって行動してくれたら、地域の応援団として、とても心強く思います。

TOPICS 3

十四小ボランティアってなにをしているの?

By 地域教育コーディネーター



ベルマーク収集整理や学年花壇のお手入れ、図書室や学級文庫の本の整備、授業支援のお手伝いをしていますよ

今年度から🐢ベルマーク、🌸お花植え、📖図書環境整備、📖図書読み聞かせ、👉授業支援の5つのカテゴリーに各チーフを配置し活動してきました。コロナ禍での活動は、思うようにボランティアさんたちと一緒に活動は出来ず残念でなりません。

今年はずっと以上に乾燥した日が続いています。4月17日まで水やりのボランティアさんを募集しています。お子さまがご卒業された保護者様!ぜひとも引き続き地域のボランティアさんとしてご協力をお願いします。おしゃべり大好きなココ、おめめクリクリ十四小のアイドルメロン、癒しのひよったんがお待ちしてますよー!



卒業しても十四小を応援してね!メロンにも会いに来て!

<学校経営協議会の記録>

※[リ]リモート開催

2月16日(木)[リ] 令和4年度の学校経営方針、学校経営協議会の年間計画について話し合いました。

3月17日(木)[リ] 今年度一年を振り返り、一年間の総括をしました。

十四小では、ほぼ毎日ホームページ(ブログ)を更新しています。学校での子どもたちの様子や学校だより、学年だよりなどを見ることができます。また、出席停止になった場合の登校許可証もダウンロードできます。ぜひ、ご活用ください。

コミュニティ・スクールとは、学校経営協議会を設置した学校のことです。学校と地域が相互に連携・協働し、一体となって子どもたちの成長を支え、よりよい社会を創ることを目指しています。

